

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和4年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・健康の増進 個別支援が必要な後期高齢者の訪問指導、通いの場等における健康状態の把握や健康相談を実施した。 健康相談件数※ 77 件 訪問件数※ 101 件 ※件数は高齢者以外の成人を含む ・高齢者の生きがいがづくり、一般介護予防事業の推進 足うら健康クラブ：回数 24 回 / 延参加者数 448 人 足うら健康サロン：開催件数 6 件 くすの木クラブ（運動）：回数 183 回 / 延参加者数 2,985 人 くすの木クラブ（脳トレ）：回数 96 回 / 延参加者数 1,094 人 介護予防サポーター数：168 人 今年度新規登録者数：13 人
自己評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談件数、訪問件数 【△】 KDBシステムを活用し、生活習慣病重症化リスクが高い後期高齢者や、健診・医療・介護の履歴がなく健康状態が不明な後期高齢者を抽出し、保健師が訪問指導や必要なサービスへの接続を行った。 また、通いの場に保健師が積極的に関与し、健康状態の把握や健康相談を実施した。 一体的実施事業により後期高齢者の保健事業は充実を図ることができたが、目標件数に

到達していないため「△」と評価した。

- ・介護予防事業の実施状況、参加者数

【○】

基本的な感染対策を徹底した上で新型コロナウイルス流行前と同様に介護予防教室を実施し利用者は増加しているが、参加者数が目標に到達していない項目があるため「○」と評価した。

- ・介護予防サポーター数

【◎】

介護予防サポーター新規登録者が13名と前年度より多くなっており、年度末時点のサポーター数も168名と目標値に到達することができた。また、新規登録者のうち2名が年度内に市の介護予防教室でのサポーター活動につながっており、関心の高い早期に具体的活動につなげるための支援ができたため「◎」と評価した。

課題と対応策

- ・健康の増進

新型コロナウイルス感染予防のための自粛生活により、フレイル状態の進行や受診控えによる健康状態の悪化、他者交流機会の減少や閉じこもりが心配される高齢者が増加している。引き続き、健診・医療・介護データを活用し支援が必要な高齢者の健康状態の把握及び必要なサービスへの接続を行うとともに、高齢者が集まる通いの場に保健師が積極的に関与し、健康状態の把握、健康教育、健康相談を実施する。

- ・介護予防事業の実施状況、参加者数

市報や市ホームページ等で介護予防事業の普及啓発を行っているが、新規利用者は伸び悩んでいる。次年度は、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師等と連携した介護予防事業の周知や参加勧奨ができるよう関係団体と協議したい。また、介護予防事業の参加者にインセンティブを付与するポイント事業について検討する。

- ・介護予防サポーター数

介護予防サポーターの高齢化により、サポーター活動の継続が困難となる可能性がある。そのため、特に若年層のサポーターの増加に繋がるように市役所の成人担当課と連携した情報提供を行う。また、サポーターの活動意思に合わせて既存の活動場所を提案したり、サポーターの持つ力を活かした新たな活動場所を検討する。